

6月景況感・ニーズ調査結果と景況感分析

＜6月の景況感・ニーズ調査の結果の抜粋と調査結果を受けてDI値等による景況感分析＞

平成23年7月13日

なかつがわ全市経済対策本部

＜6月景況感・ニーズ調査＞

- ・前年同期と比べた場合では、震災や円高などによる影響を受け、従業員の過剰感を除いてすべての項目で景況感がさらに悪化の状態にあるものと思われます。
- ・6ヶ月先の見通しは、受注売上高が悪化傾向を予想しているものの、他の項目すべてで改善を見込む予想となっています。
- ・行政への要望については、発注関係、市政・国政に関するもの、経済の活性化、農林業支援などが多く要望されています。
- ・本部の取組みについては、肯定的なものが19件、否定的なものが7件という結果となりました。

＜DI値を使った業種ごとの景況感分析＞

- ・農林業 悪化傾向からさらに後退又は横ばい、先行きは悪化を予想。
- ・建設業 全項目で急激に悪化、先行きは改善を見込むものの低水準。
- ・製造業 回復ライン付近にあるがさらに悪化、先行きは小幅ながら改善を予想。
- ・運輸業 悪化傾向から改善又は横ばい、先行きは改善を予想。
- ・卸・小売業 売上高の急激な悪化、先行きは改善を予想。
- ・サービス業 全項目で緩やかながら悪化、先行きは売上高を除き改善を予想。

＜過去の調査との分析＞

全ての項目で、震災や円高などによる影響を受け、景況感は悪化の状態にあるが、生産活動の回復、家計や企業マインドの改善を背景に一步步その影響から脱しつつあり、「景況感は、厳しい状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる」ものと思われます。

◎DI値とは

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」で使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「DI値」といいます。

「DI値」は、単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景況回復、0以下になれば景況後退を示す方法です。

6月景況感・ニーズ調査結果

なかつがわ全市経済対策本部事務局

○ 調査の概要

1 調査の目的

市内事業所の実態と動向を把握し、現在の経済危機が市内の事業所にどのような影響を及ぼしているか、さらに今後の状況はどのようになると予想されているのかを調査し、併せて行政への要望と現在までの取組みに対する意見等を調査し、今後の緊急経済対策の分析資料とするとともに取組みに対する検証の資料とすることを目的とする。

2 調査対象

市内の事業所のうちから、中津川商工会議所及び中津川北商工会において抽出された、388事業所と農林畜産業の景況感聞き取り調査団体を対象とした。

抽出数	中津川商工会議所	288 事業所
	中津川北商工会	100 事業所
	農林畜産業団体	31 事業所
	計	419 事業所

3 調査方法

アンケート方式
(調査用紙を郵送又はFAX送信して、FAXで回答)

4 調査期間

6月20日～7月6日(回答期限6月30日から延長)

5 調査項目

【景況感調査】

- 1) 受注(売上高)について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 2) 採算(収益)性について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 3) 従業員について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 4) 資金繰りにについて { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 5) 震災後の動向について ①受注(売上高)を震災直後と比べて

【ニーズ調査】

- 6) 行政に望むもの
- 7) なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

6 回答数

147件(7月6日回答分を含む)

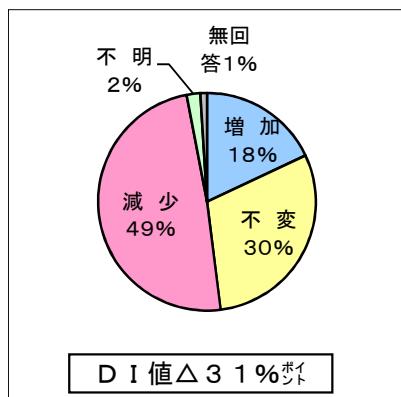
《業種別》		《地区別》	
農林業	25件	中津川	98件
建設業	30件	坂下・川上・山口	7件
製造業	43件	加子母・付知・福岡・蛭川	42件
運輸業	3件	計	147件
卸・小売業	21件		
サービス業	25件		
計	147件		

6月景況感調査結果

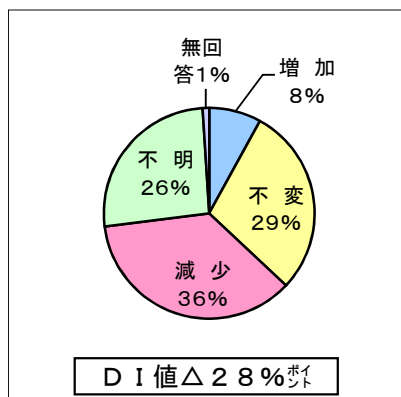
【景況感調査】

1) 受注(売上高)について

①前年同期と比べて

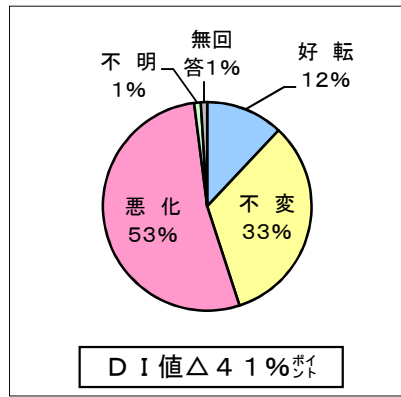


②6ヶ月先の見通し

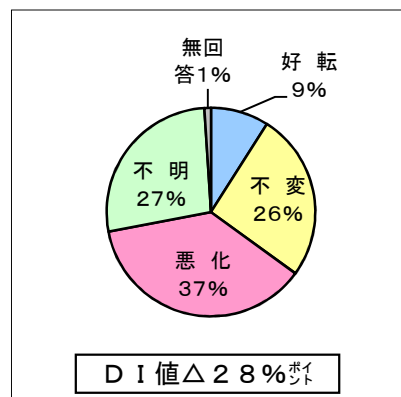


2) 採算(収益)性について

①前年同期と比べて

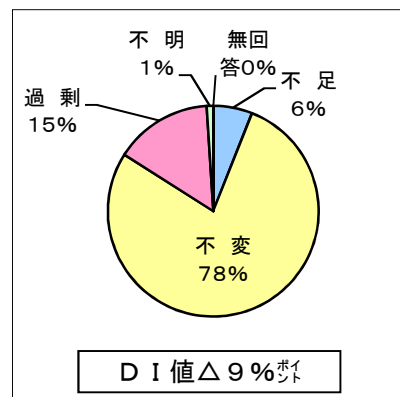


②6ヶ月先の見通し

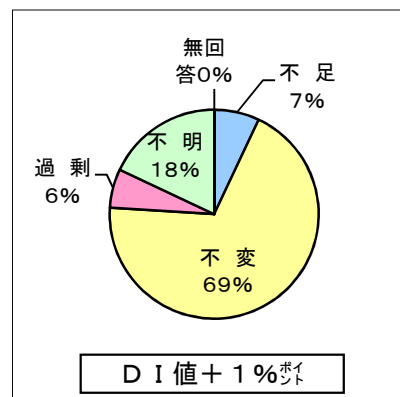


3) 従業員について

①前年同期と比べて

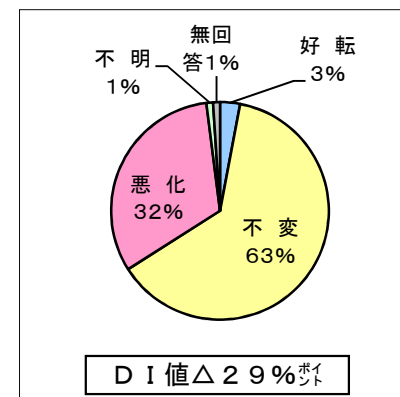


②6ヶ月先の見通し

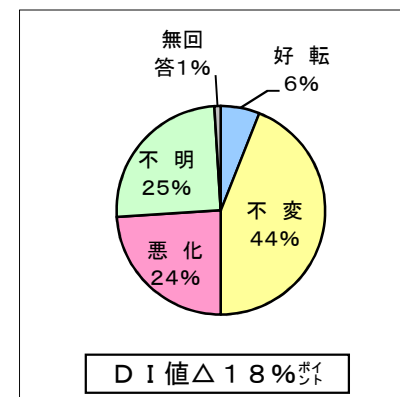


4) 資金繰りについて

①前年同期と比べて



②6ヶ月先の見通し



【ニーズ調査】

行政へ望むもの

・地元企業に優先的に工事や事業を発注してほしい。	13 件
・その他工事や事業の発注に関係するもの。	5 件
・就職や雇用の支援などに関するもの。	1 件
・農林業政策の充実など農林畜産業支援に関するもの。	6 件
・地域などの活性化の推進に関するもの。	3 件
・各種税制での優遇や減免をしてほしい。	2 件
・その他緊急経済対策としての支援や助成に関するもの。	7 件
・市政・国政全般に関するもの。	10 件
・その他の要望。(リニア、震災関連)	3 件
・緊急経済対策に対して「要望なし」やその他の意見。	4 件
計	54 件

なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

〔肯定的な意見〕

・対策の継続や推進を期待する。	9 件
・良い事だと思う。	5 件
・その他「ありがたい。」など	5 件
計	19 件

〔否定的な意見〕

・対策が感じられない。	1 件
・その他「効果が良くわからない。」や「行政と民間の間にズレ。」など	6 件
計	7 件

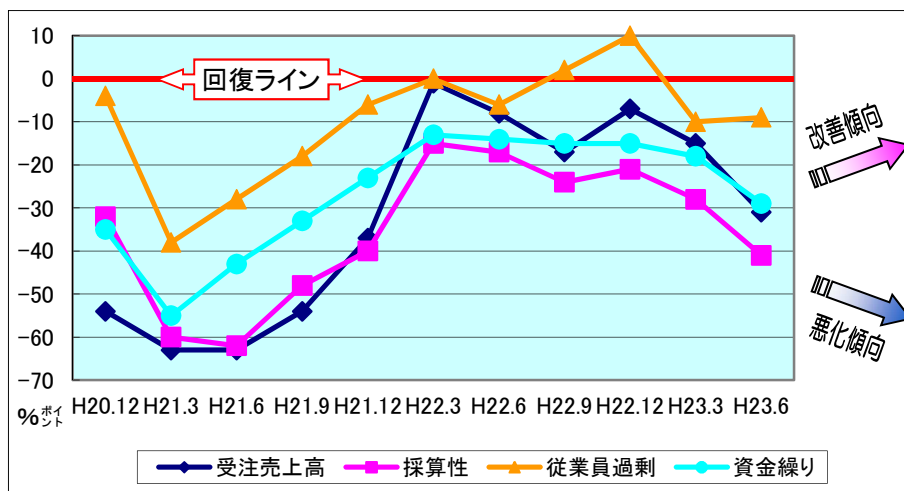
〔要望的な意見〕

・地産地消の推進に関係するもの。	2 件
・就職や雇用対策に関するもの。	2 件
・金融支援に関するもの。	1 件
・その他行政の対する要望など。	7 件
・特になし。	1 件
計	13 件

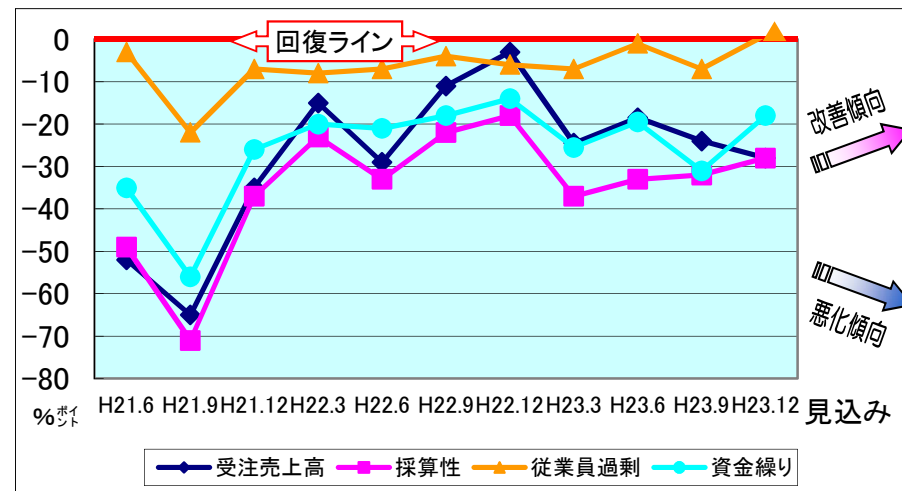
景況感調査のD I 値による分析（6月）

◎H20. 12月～H23. 6月の調査と比較して分析

設問 ①前年同期と比べて



設問 ②6ヶ月先の見通し



◎ 震災や円高などの影響を受け、従業員の過剰感を除き景気はさらに悪化の状態となっています。

◎ 震災や円高などの影響により厳しい状況が続くものの、受注売上高を除きその他の項目で景気の持ち直しの動きがみられることから、改善の予想となっています。

《使用資料》

- 会員実態・業況調査 (H20. 9～12)
- 緊急経済アンケート調査 (H21. 2～3)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 9)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 12)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 3)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 9)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 12)
- 景況感・ニーズ調査 (H23. 3)
- 景況感・ニーズ調査 (H23. 6)

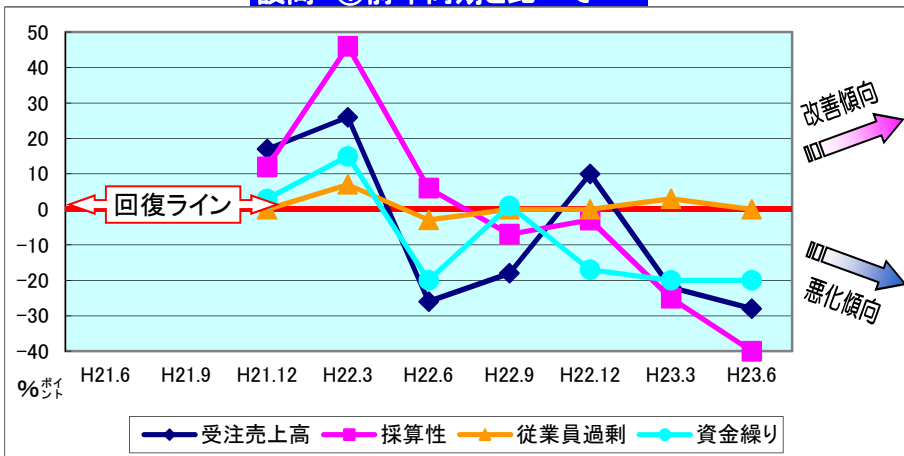
- 中津川北商工会
- 中津川商工会議所
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部

- 1,172社 ⇒ H20. 12
- 100社 ⇒ H21. 3
- 159社 ⇒ H21. 6
- 150社 ⇒ H21. 9
- 222社 ⇒ H21. 12
- 167社 ⇒ H21. 3
- 167社 ⇒ H22. 6
- 156社 ⇒ H22. 9
- 150社 ⇒ H22. 12
- 150社 ⇒ H23. 3
- 147社 ⇒ H23. 6

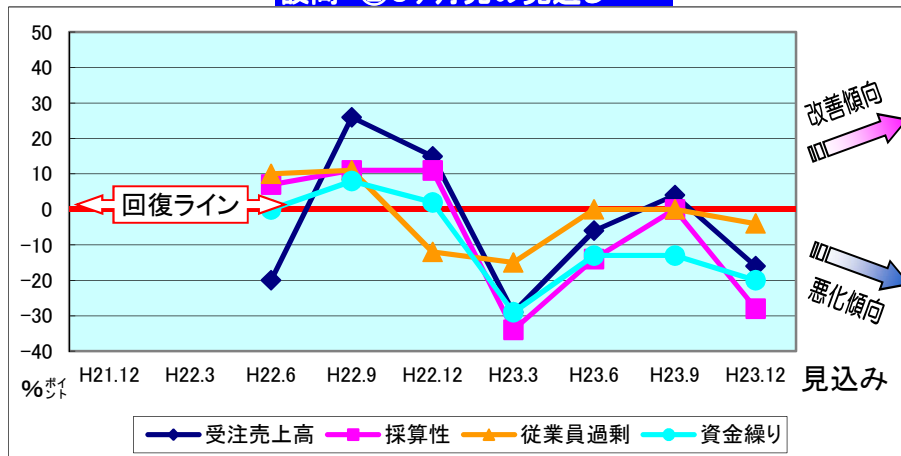
業種別

農 林 業

設問 ①前年同期と比べて



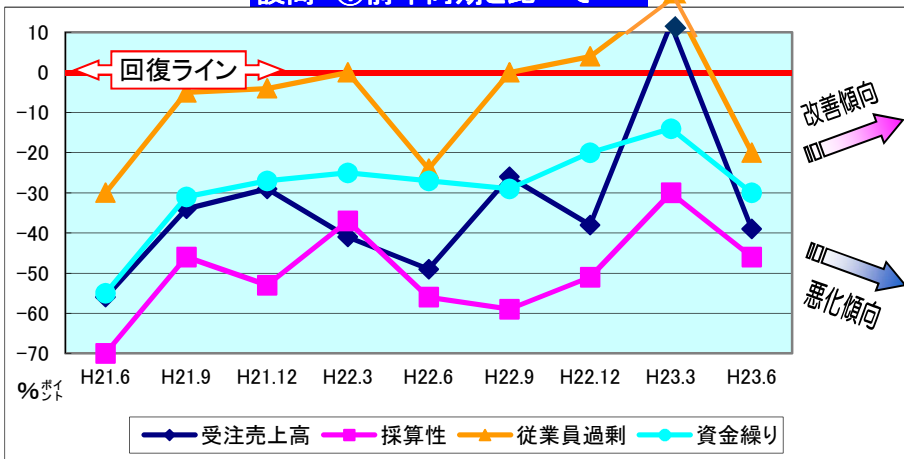
設問 ②6ヶ月先の見通し



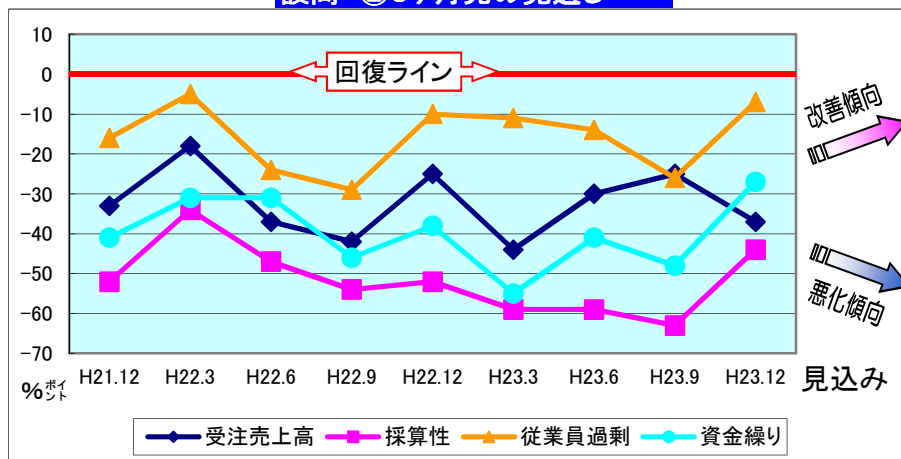
従業員の過剰感は、わずかに低下したものの回復ラインを維持していますが、受注売上高や採算性で悪化を示しています。見通しは、すべての項目で悪化傾向を見込む予想となっています。

建 設 業

設問 ①前年同期と比べて



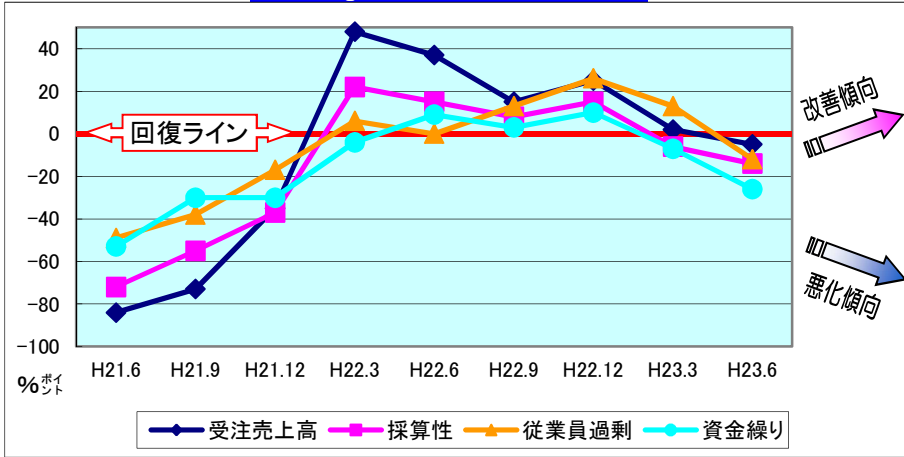
設問 ②6ヶ月先の見通し



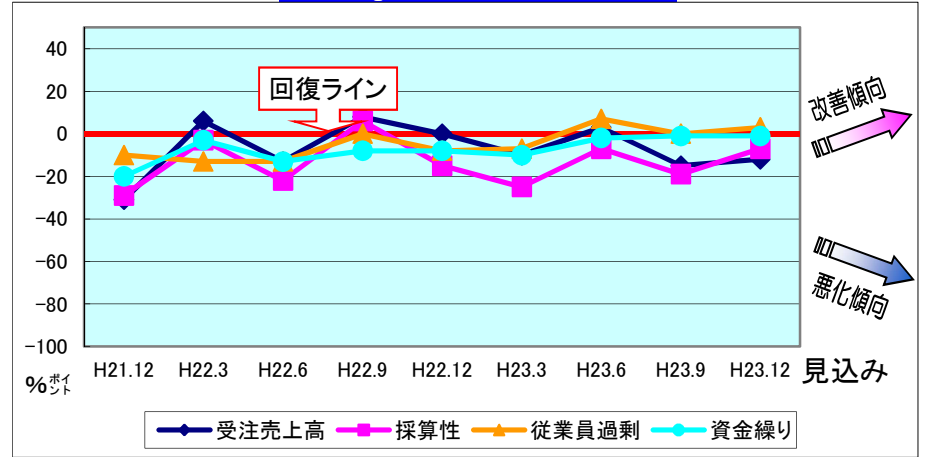
前回より一転、すべての項目において急激な悪化となり低水準を示しています。見通しは、受注売上高を除きその他の項目すべてで改善傾向を見込む予想となっています。

製造業

設問 ①前年同期と比べて



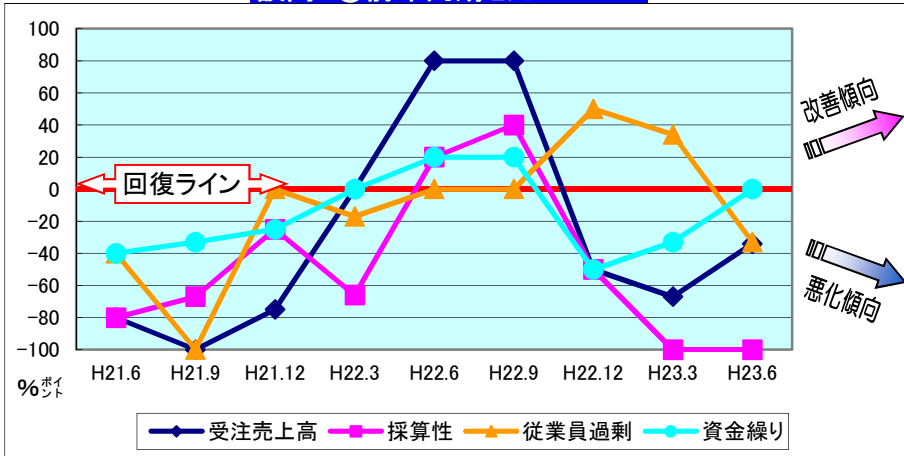
設問 ②6ヶ月先の見通し



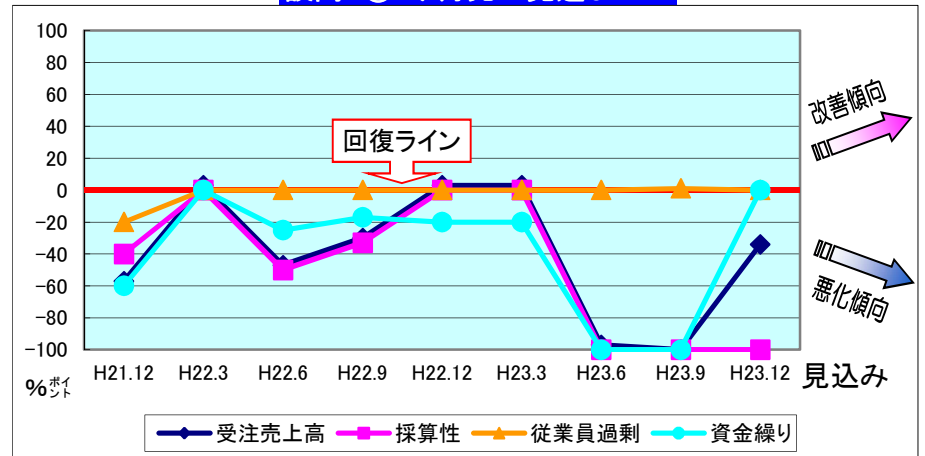
前回に続きすべての項目で悪化したものの回復ライン付近にあります。見通しは、小幅ながら大半の項目において改善傾向を見込む予想となっています。

運輸業

設問 ①前年同期と比べて



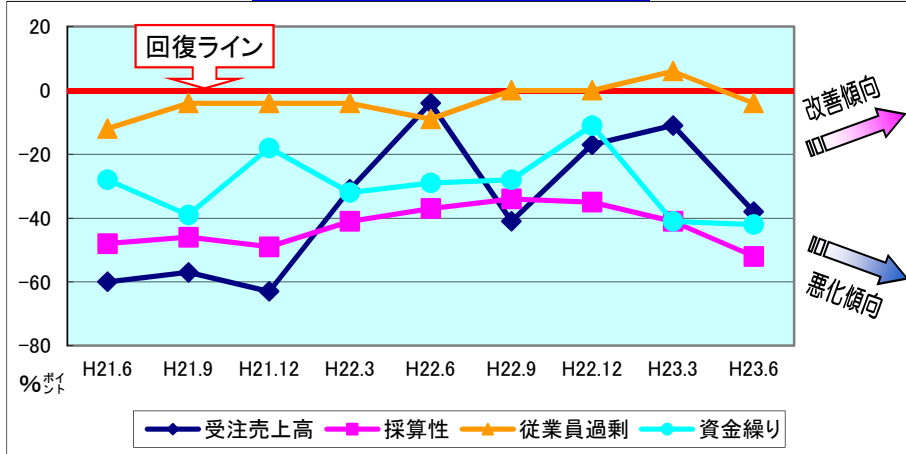
設問 ②6ヶ月先の見通し



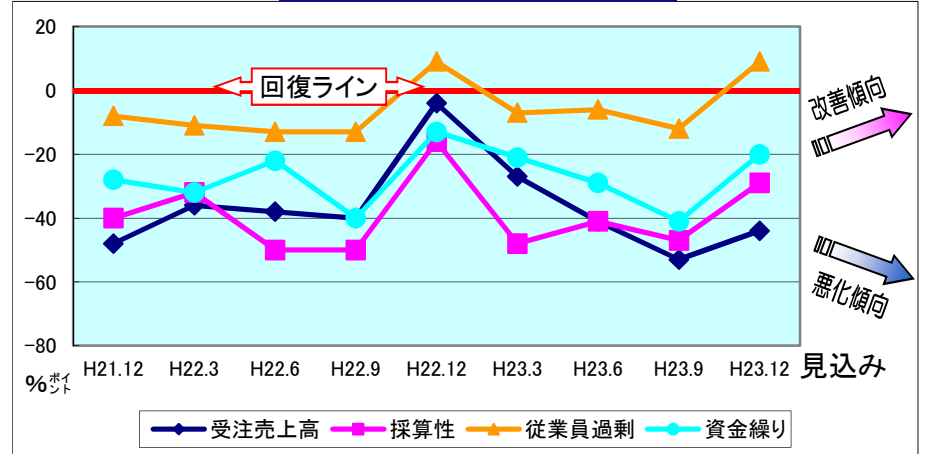
回答数が少ないため大きな変動となっていますが、従業員の過剰感を除きその他の項目は改善又は横ばいを示しています。見通しは、採算性を除き回復ラインに近づくまでの改善を見込む予想となっています。

卸・小売業

設問 ①前年同期と比べて



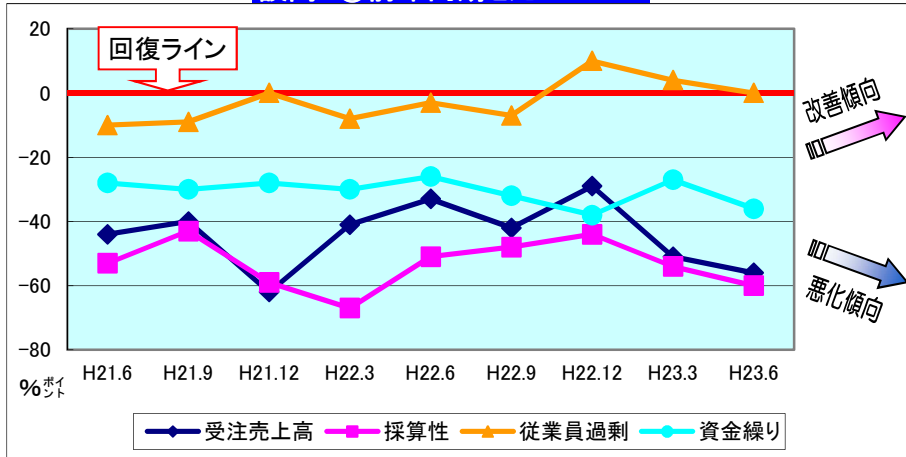
設問 ②6ヶ月先の見通し



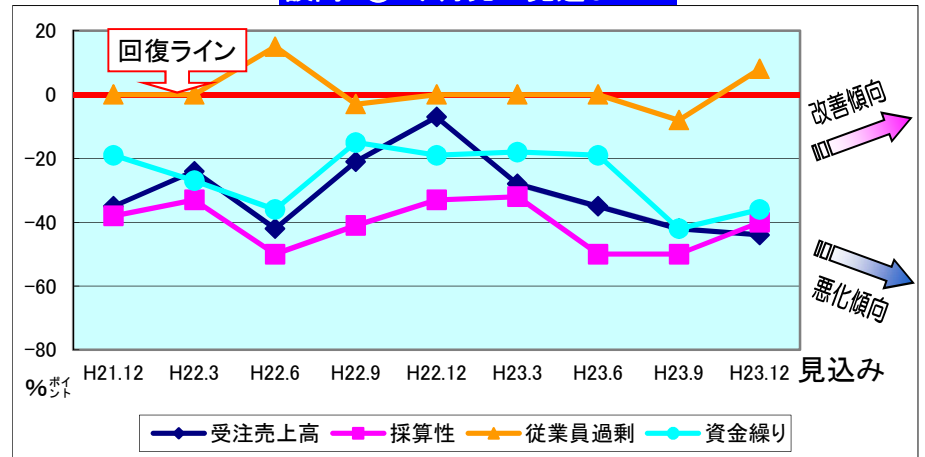
受注売上高の急激な落ち込みをはじめすべての項目で悪化を示しており、従業員の過剰感を除き低水準で推移しています。見通しは、すべての項目で改善傾向を見込む予想となっています。

サービス業

設問 ①前年同期と比べて



設問 ②6ヶ月先の見通し



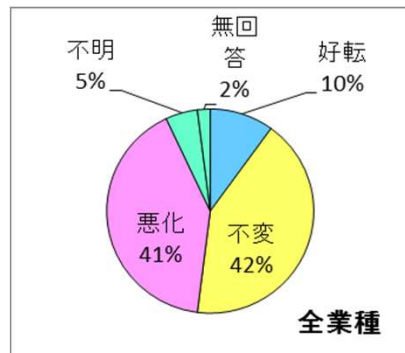
従業員の過剰感は、わずかに低下したものの回復ラインを維持していますが、その他の項目は悪化により低水準を示しています。見通しは、受注売上高を除きその他の項目で改善を見込む予想となっています。

■震災後の動向について

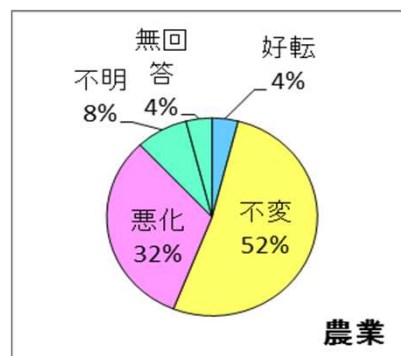
①受注(売上)高を震災直後と比べて

	回答件数
好転	15
不変	62
悪化	60
不明	7
無回答	3

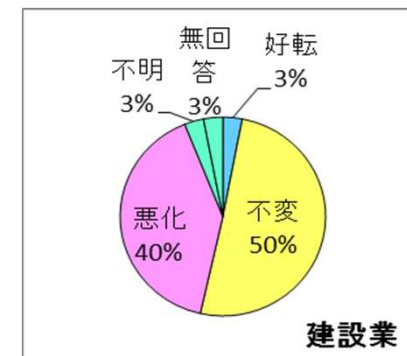
※震災直後と3ヵ月経過した時点での受注(売上)高の比較



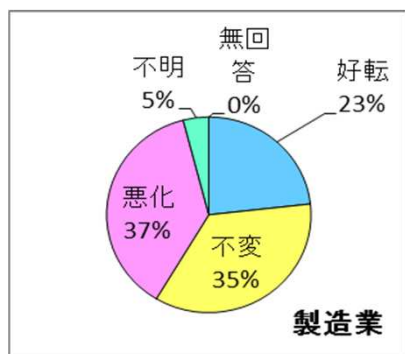
DI値△31%※



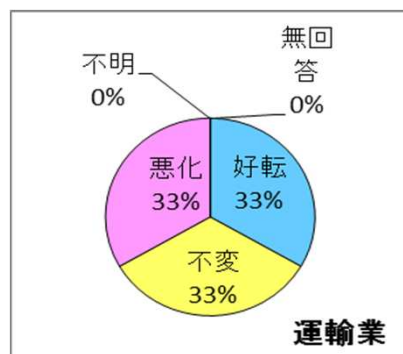
DI値△28%※



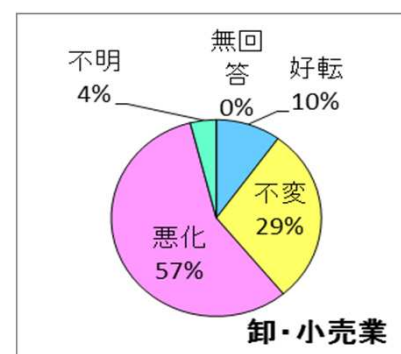
DI値△37%※



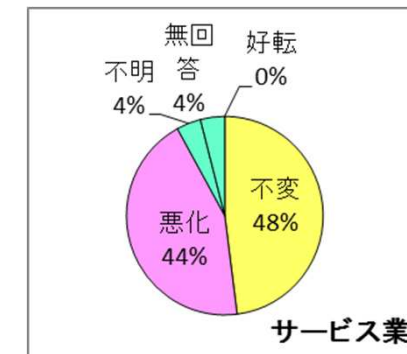
DI値△14%※



DI値0%※



DI値△47%※



DI値△44%※